

令和 6 年 5 月 18 日現在

機関番号：22501

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2020～2023

課題番号：20K11073

研究課題名(和文)市町村保健師による民間活力を活かしたヘルスケア対策に向けた基盤的研究

研究課題名(英文)Fundamental research by municipal public health nurses toward healthcare measures that leverage the vitality of the private sector

研究代表者

成 玉恵 (sei, tamae)

千葉県立保健医療大学・健康科学部・講師

研究者番号：60749927

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,900,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の目的は、市町村保健師の民間活力を活かしたヘルスケア対策のプロセスおよび促進・阻害を始めとする関連要因を明らかにし、民間活力を活かしたヘルスケア対策の概念モデルを作成する、そして、これらを基盤とした公衆衛生看護活動の方策を検討することである。これにより、市町村保健師4名と民間事業者5名に個別にインタビュー調査を行い、質的帰納的に分析した。その結果、実践活動の要素と内容を抽出し「民間活力を活かしたヘルスケア対策の概念モデル」を作成した。また、今後の公衆衛生看護活動への関連について言及した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまで、市町村のヘルスケア対策において民間活力を含む社会資源の活用は、現場の保健師の個人的な力量に任せられ、その実態が不明瞭であった。本研究で、民間活力を活かした実践活動の内容とそのプロセスが明らかになったことで、今後のヘルスケア対策で民間活力の導入が進むことが期待できる。また、それにより、民間企業が持つ新たな事業展開や戦略のノウハウを得ることで、ヘルスケア対策が推進し地域の健康増進に寄与するものとする。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this research is to clarify the process of health care measures that take advantage of the private sector vitality of municipal public health nurses, and related factors such as promotion and inhibition, and to create a conceptual model of health care measures that take advantage of the private sector vitality. and consider strategies for public health nursing activities based on these. As a result, we conducted individual interviews with four municipal public health nurses and five private business operators, and conducted a qualitative inductive analysis. As a result, we extracted the elements and content of practical activities and created a ``conceptual model for healthcare measures that leverage private sector vitality''. I also mentioned the relevance to future public health nursing activities.

研究分野：公衆衛生看護

キーワード：民間活力 ヘルスケア対策 市町村保健師

## 1. 研究開始当初の背景

### (1) ヘルスケア対策の現状

健康日本 21 (第 2 次) の中間報告 (厚労省) では、健康寿命の延伸や地域の健康格差に縮小が見られるも、メタボリックシンドロームや介護サービス利用においては明らかな改善が認められていない。課題は山積しており、早急なヘルスケア対策が求められている。

このような現状において、厚生労働省は「保健福祉分野における民間活力を活用した社会的事業の開発・普及のための環境整備事業 (2017)」を試行的に実施している。また、介護予防事業では全部または一部を業務委託できることから、約 7 割の自治体が運動による介護予防事業の業務委託を行っている。しかし、市町村保健師による実態調査やマネジメント行為の特徴 (石川 2012, 2013) に関する研究があるのみで、これら業務委託の全体像の把握は難しい。その他、先駆的な活動やユニークな活動の報告が散見されるも (大賀 2003 他) その現状については明らかにされていない。

### (2) 市町村保健師のヘルスケア対策と民間活力を活かした活動の位置づけ

市町村保健師は、基礎的自治体の職員として住民の身近な健康問題に取り組むことが求められており、様々なヘルスケア対策・推進の中心的役割を担っている (厚労省 2013)。また、民間活力を含む社会資源の活用や創出は、行政保健師の重要な役割として、厚生労働省の検討会、公衆衛生看護学などの分野で、能力に関する知見が蓄積されている。

市町村保健師のヘルスケア対策に民間活力がどのように関わっているのか、現状の理解が不明瞭な原因の一つに、民間活力を含む社会資源の活用が、現場の保健師の個人的な力量に任されていることが考えられる。そのため、多くの保健師が社会資源の活用に困難や負担を感じていることが報告されている (道林 2017)。市町村保健師の負担を軽減し保健師の個人的な力量に頼らずヘルスケア対策を実施するためには、市町村保健師がヘルスケア対策に、民間活力をどのように活かしているのかプロセスを探り、普及の促進・阻害要因を明らかにする必要がある。また、これらの内容を反映させた普及の方策が作成されれば、地域の健康増進につながると考えた。

## 2. 研究の目的

市町村保健師の民間活力を活かしたヘルスケア対策に関するプロセスおよび促進・阻害を始めとする関連要因を明らかにし、民間活力を活かしたヘルスケア対策の概念モデルを作成する。そして、これらを基盤とした公衆衛生看護活動の方策を検討する。

## 3. 研究の方法

### (1) 研究デザイン：質的帰納的研究

### (2) 研究参加者：

#### 個別インタビュー：

市町村保健師の保健活動において、民間活力を活用した事業または活動を担当した行政保健師および民間企業担当者。

#### フォーカスグループインタビュー：

行政に勤める管理職保健師および統括保健師。

### (3) 調査方法：

#### 個別インタビュー

研究参加者へ半構成的面接調査を行った。面接調査の時間は研究参加者 1 名につき 1 回 40 分～50 分程度で、面接調査はインタビューガイドを用いて行った。調査内容は研究参加者の許可を得て IC レコーダーに録音した。調査内容は「市町村保健師による民間活力を活かした保健活動の実態」「民間事業担当者による保健事業活動の実態」であった。

#### フォーカスグループインタビュー

研究参加者を 2 グループに分け、グループインタビューを行った。調査内容は研究参加者の許可を得て IC レコーダーに録音した。調査内容は 個別インタビューの結果の妥当性について検討した。

### (4) データの分析方法

帰納的アプローチによる質的記述的分析を用いた。分析結果から「民間活力を活かしたヘルスケア対策の概念モデル」を作成した。

## 4. 研究成果

### (1) 研究参加者

個別インタビューの参加者は、市町村保健師 4 名 (勤続年数 10 年以上 3 名、1 年未満 1 名)、民間事業者 5 名 (勤続年数 10 年以上 2 名、5 年以上 10 年未満 2 名、5 年未満 1 名) であった。

フォーカスグループインタビューの参加者は、管理職保健師 7 名 (統括保健師兼任 1 名を含む)、統括保健師 1 名であった。

## (2) 対象事業の概要

表1 対象事業の概要

	A	B	C	D	E
事業名	両親学級	職域連携	特定健診・保健指導	発熱相談	特定健診受診率向上事業
契約方式	全部委託（プロポーザル）	一部委託	一部委託（プロポーザル） *今年度より成果報酬型を実施中	一部委託 （随意契約 派遣委託 業務委託 競争入札）	一部委託
保健師の役割	業者選定、事業計画、周知、要支援者情報の共有	業者選定、仕様書の作成、配布チラシの作成・修正、実績管理	事業対象者の選定、医療機関への健診依頼、保健指導対象者のリストアップ	業者選定、仕様書の作成、環境整備、管理、評価	業者選定、研修内容のすり合わせ、個別相談会の参加
民間事業者の委託内容	受講者募集・受付・選定	講師の選定、市民への周知、健康経営に取り組むためのセミナー	保健指導対象者への保健指導	派遣看護師の人材調整、研修、モニタリング	研修講師、個別相談会

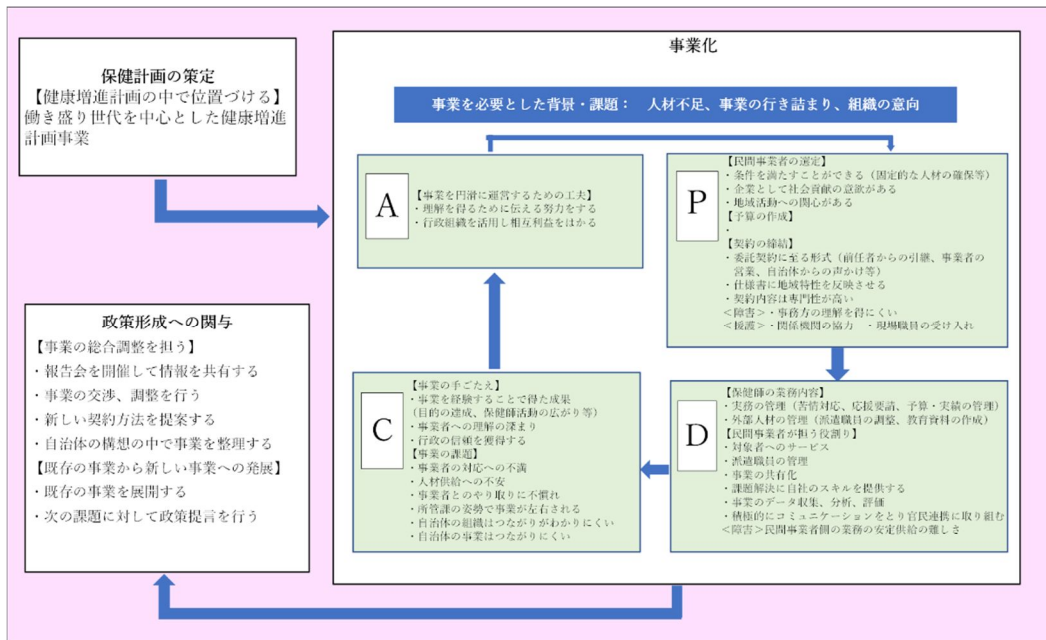
## (3) 民間活力を活かした保健活動

市町村保健師および民間事業者への個別インタビューの分析結果、民間活力を活かした保健活動は【民間事業者の選定】【予算の作成】【保健師の業務内容】【民間事業者が担う役割】【事業の手ごたえ】【事業を円滑に運営するための工夫】など、11の категория、31のサブカテゴリー、254のコードに分類された。

## (4) 民間活力を活かしたヘルスケア対策の概念モデル

フォーカスグループインタビューにおいて、民間活力を活かした保健活動の妥当性について検討した結果、(3)の категорияおよびサブカテゴリーの表現を一部修正し、categoryを保健活動の要素、サブカテゴリーを保健活動の内容（促進・阻害要因を含む）として、概念モデルを作成した。

図1 民間活力を活かしたヘルスケア対策の概念モデル



## (5) 概念モデルを活かした公衆衛生看護活動の方策

ヘルスケア対策で民間活力の導入を進めるためには、概念モデルから実践活動モデルを開発することが必要と考える。今後、市町村保健師の実践活動をモデルとして明文化し、現場の保健活動の指標を作成するためには、本研究の成果である概念モデルを精練し妥当性と信頼性および有用性を高め、実践活動モデルを開発することが求められる。

### <引用文献>

- 厚生労働省：保健福祉分野における民間活力を活用した社会的事業の開発・普及のための環境整備事業業務（企画競争）, (2019年9月20日閲覧）.
- 石川志麻, 宮崎美砂子, 石丸美奈. (2012). 市町村保健師の委託事業を利用したマネジメント行為の特徴. 千葉看会誌, 18(1), 77-85.
- 石川志麻, 宮崎美砂子, 石丸美奈. (2013). 市町村の介護予防事業における業務委託の現状と課題 - A 県の業務委託実態調査からの示唆 -. 千葉看会誌, 19(1), 45-53.
- 厚生労働省. (2013). 地域における保健師の保健活動について, 健発 0419 第 1 号.
- 道林千賀子. (2017). 中堅期以上の自治体の保健師の事業・社会資源の創出に関するコンピテンシーと実践上の困難との関連. 民族衛生, 83 巻 1 号, 13-25.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	岸 恵美子  (Kisi Emiko)  (80310217)	東邦大学・看護学部・教授   (32661)	
研究分担者	坂本 美佐子  (Sakamoto Misako)  (80807280)	東邦大学・看護学部・講師   (32661)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	関野 尚子  (Sekino Naoko)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関